

私のすすめるこの1冊

日野 陽子 (美術科 准教授)

『「私」を受け容れて生きる—父と母の娘—』

末盛 千枝子 (著)

筆者は戦後日本を代表する彫刻家の一人である舟越保武氏の長女であり、この Library News 2016年11月号で紹介された美智子皇后の講演録『橋をかける—子供時代の読書の思い出』のビデオ収録、ニューデリーで開催された IBBY (国際児童図書評議会) 現地会場での上映、その2ヶ月後に自身の設立したすえもりブックスからの出版を始めとし、数多くの優れた絵本の編集、出版を手がけてきた。また、自身も岩手で経験した東日本大震災の後、被災地の子ども達に絵本を届ける活動を起動している。本書では、末盛氏の幼少期から現在に至る決して平坦ではない人生が、星を散りばめたように美しくひたむきな人々との出会いを絡めながら丁寧に語られている。

先的美智子皇后の講演は、1998年当時 IBBY インド支部の数年に渡る願いが推進され、後一息というところまで来た矢先、インドが行った核実験によって現地での実現が絶たれることとなった。ビデオ収録、放映、出版に至った経緯と共に、末盛氏がこの講演をどうしても世界の人々に届けたいと思った要点を「皇后様は読書を通して、他の人の悲しみを知り、喜びを知り、愛と犠牲が分かちがたいということを知ったこと、そして、誰しも、何らかの悲しみを背負って生きているということを知ったこと… (中略)。読書には、人間を作る「根っこ」と喜びに向かって伸びようとする「翼」があり、ご自身が、外に内に橋をかけ、自分の世界を少しずつ広げながら育っていくとき

に大きな助けとなった、と…」と述べている。この言葉は、本書全体を通貫する末盛氏自身の、喜びと悲しみに満ちた人生と重なり、さらに、それらの体験をまさに世界に向けて「橋を架ける」動きとして結晶させていることに胸を打たれる。

高村光太郎によって名付けられた名前にこめられた深い愛と悲しみ。父がアトリエで一心に長崎の二十六聖人殉教者像の制作に打ち込む姿。それらが涙雨の降る中、長崎へ運ばれていく光景。人生や芸術について、厳しいけれども自由に考える母。自身の夫の突然死。子どもの難病…これらの全てが「貧しいなかでも、生きていく上で、どのようなことを良しとするか、人生で美しいとはどのようなことかを幼少時から厳しく教えられた」という心の土壌に逞しく受けとめられている。「3・11 絵本プロジェクトいわて」では、被災地の子ども達が求めているのは「新しい本」ではなく、「失われてしまった自分のお気に入りの本」であることを軸に動くことで希望の光を見た、と言う。多様な価値観にあふれ、猛烈な速さで日々が過ぎて行く現代、このように日常の中で人として血肉になっていく体験や思いの伝達は少なくなっているのではないだろうか。本書から滲み出すものは、決して芸術家の家庭で育った筆者の人生を特別な体験として訴えるものではなく、誰にも与えられた日常の出会いや風景を「深く受けとめ」、自身の「根っこ」としていく力であるように感じる。



わくわく Kyo2 ライブラリー2017 学生の★学生による★学生のための★読書案内 読書キャンペーン館長賞決定!

2017年10月10日(火)～2018年1月15日(月)まで実施された「わくわく Kyo2 ライブラリー2017 読書キャンペーン」の館長賞1名、優秀賞1名、わくわくライブラリー賞2名の計4名の方が選ばれました。受賞者から感想をいただきました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。残念だった方には、次回のチャレンジを期待しています。



館長賞

この度は館長賞を受賞することができ、大変光栄に思います。メアリー・シェリーの『フランケンシュタイン』は私の大好きな作品の1つですが、同じくイギリスの作家チャールズ・ディケンズの作品も心温まるお話が多くておすすめです。(北口聖子)



『フランケンシュタイン』
文庫南館2階【SH-2||SH 14||14】



優秀賞

昨年に続き賞をいただくことができ、大変うれしく感じています。吉本ばなな先生の「キッチン」を英訳したもので今回は書かせていただきました。本当に心に響く素晴らしい作品ですので、1人でも多くの方に読んでいただけるといいなと願っています。原作を読んでからでも、先にこちらを読んでからでもいいと思います。この本を通して、作品は勿論、日本語英語のそれぞれのよさ、違い、おもしろさに気づいてもらえるきっかけになればと思います。(林 岳志)



『kitchen by Banana Yoshimoto』
グローバルスクエア北館2階【||Y 91】



わくわくライブラリー賞

まさか自分が投稿させていただいた本の紹介が選ばれるなんて思ってもいなかったので大変嬉しいです。今回、投稿させていただいた「怖い絵」は、老若男女問わず楽しめる内容です。機会があれば是非とも一度手に取っていただきたいです。また、今年度も読書キャンペーンがあれば自分がオススメする最高の一冊を京教のみなさんに紹介して欲しいです。ありがとうございました。(小川もも美)



『怖い絵』
文庫南館2階【723||N39】



わくわくライブラリー賞

これから高校の教師になるが、中学数学や他の教科の本を読むことで指導の幅が広がると思い、この本を読み、この本で受賞できたことを大変うれしく思っています。ぜひ、数学領域の人だけでなく、他の教科の人を読んで下さい。(川端祥平)



『中学校数学 50の難所』
開架西館2階【375.413||I23】

リクエストと投票で話題の本を読もう!

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています!リクエストや投票にどんどん参加してください。(リクエストは随時受付中です)

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入します。

5月の投票期間は5月7日(月)～5月29日(火)

2016～2017年度に購入した本を、5月末まで北館2階研修セミナー室前に展示しています。



京都教育大学
それはかなう夢講座

第11回のお知らせ

【日時】2018年5月29日(火)
12:10~12:40

【場所】附属図書館1階 リフレッシュラウンジ

【講師】小谷 裕実(発達障害学科 教授)

【テーマ】「折れないココロの育て方
~レジリエンスについて」

概要：みなさんは心が折れそうになったことはありませんか？
病気で夢が閉ざされたとき、大失恋、部活での故障や成績不振、
友人の裏切りなどなど・・・
人生思い通りにならないことだらけ。
同じ苦痛に満ちた経験をして、心が折れる人と折れない人が
います。しなやかで折れない心の特徴ーレジリエンスについて
お話します。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

おにぎり2個&お茶付き！
先着30名

学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。
勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

【場所】北館2階 ラーニングcommons
【時間】16:30~19:00の該当時間

※実施日時は、図書館ホームページやラ
ーニングcommonsなど図書館の掲示でお知ら
せしますので、最新情報を確認してくだ
さい。どんどん利用してください！



図書館システムを更新しました！

2018年2月末に図書館システムを更新しました。
WebOPAC からクエリの森(本学リポジトリ)の検索
が可能になりました。また、WebOPACのURLが変
更になっていますのでご注意ください。
新URL: <https://www-std01.ufinity.jp/kyokyolib/>

新サービスとして、返却期限お知らせメールが届くよ
うになりました。メールが届いたら返却もしくは更新を
してください。また、スマホアプリの導入も開始しまし
た。詳細は図書館ホームページをご確認ください。

ミニ展示 カズオ・イシグロ展

【北館1階 渡り廊下にて
5月14日(月)まで開催中】

2017年にノーベル賞を受賞したイギリスの作家、
カズオ・イシグロ氏のミニ展示を開催中です！

今回はなんと、太田耕人副学長(元図書館長)にお
借りしたカズオ・イシグロ氏のサイン本を展示してい
ます！

また、図書館が所蔵している長編小説の日本語訳全
点と短編小説の日本語訳数点に加え、映画DVD、英
文学科奥村先生研究室所蔵の研究書も展示しており、
こちらは貸出可能です。この機会に是非一読してみ
てください！



児童書コーナー
(南館1階)



学生による絵本のよみきかせ

- ◆5月7日(月) 14:00~14:15
- ◆5月21日(月) 14:00~14:15

今月の絵本カード(学生作)

『ぜんべいじいさんのいちご』

出版社：ひさかた
チャイルド
作：松岡 節
絵：末崎 茂樹



※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいい
カードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

企画展示室(北館1階)

第2回 京都教育大学 アートフォーラム展

5月12日(土)~5月26日(土) 日曜休館
9:00~17:00 ※最終日は15:00迄

出品者：20~80代の卒業生・学生
(日本画・洋画・彫塑・工芸・デザイン・書道・他)

【併催企画】

アーティスト・トーク
「アートdeおしゃべり」

5月19日(土) 11:00~12:30
北館2階 研修セミナー室1



主催：京都教育大学 アートフォーラム
共催：京都教育大学
協力：京都教育大学美術科

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **巻本 彰一**(理学科 准教授)

化学実験における基本操作習得に関する考察 —総合的学習としての醤油から食塩の分離実験—

巻本彰一・大久保彰人

京都教育大学紀要. 2017, No.131, pp. 123-134

理科の実験において事故が起こる場合は、危険物を取り扱う化学分野で起こることが多いので、実験に携わる人は試薬および実験器具の取り扱いや基本的な実験操作について正しい理解をすることが必要です。しかし、本学理科領域の入学生に基本操作の経験度や熟練度をアンケートで訊ねたところ、経験度にはかなりの個人差があり、また習得できていない実験器具の取り扱いや、基本的な操作方法に問題のある学生が多いことがわかりました。

この論文では、前述のアンケートから「どのような基本操作に経験度や熟練度が低いのか」を明らかにしたうえで、中学生、または高校生が、化学実験の導入として、実験器具や正しい基本操作について網羅的に学ぶことができ、または再確認できるような実験例として、身近にある醤油から、含まれている有機物を燃やして無機物を取り出す実験例を紹介しています。実験例には、実験の参加者が取り出した無機物が食塩であることを、アクティブラーニングで意見を出し合ったうえで、実際に実験をして確認する段階までを含めてありますので、指導者が総合的学習にも使える内容となっています。

大学教員としての活動は、専門での研究活動以外にも、各自が受け持つ講義や実験・実習などの授業改善を定期的に行ったり、各種講演や現職の先生方に対する講習を担当するなど多岐にわたります。考案した実験は本学の化学基礎実験 (b) クラスと現職教員の10年期研修(2015年度教員免許状更新講習) で実施し、この論文はその試みをまとめたものです。この場をお借りして御協力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 131 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>でもご覧ください。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2018年5月							2018年6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

6/1 創立記念日

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<http://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.212(2018年5月号)

発行日:平成30年5月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION